

みみネット

-Index-

知っておきたい！補聴援助システムのキホン③
高等部「進路説明会」のご案内
小学生通級指導教室でのこぼれ話 — 通級担当より —
令和6年度 各種研修会のお知らせ（予定）



知っておきたい！補聴援助システムのキホン③

前号に引き続き、「補聴援助システム」を活用するとき気をつけるポイントについて、お伝えします。

②黒板の方を向いたまま話をしない

補聴援助システムを活用している学校では、つつい安心して、黒板の方を向いたまま授業を進める場面があるようです。

教員がマイク（送信機）を身につけている場合には、周囲の雑音や距離の影響を受けにくくはなりますが、聴覚に障がいのある児童生徒がきこえにくいことには変わりありません。

「補聴援助システムを使用しているから大丈夫」「きこえているから安心」と思わずに、子どもの反応や様子を確認しながら、声の大きさや口形を意識して話すことや視覚的な教材の工夫を続けていく必要があります。



③咳払い、大きな声を出すときは注意



マイクを身につけているときに、急に大きな声を出すと、子どもの補聴器・人工内耳（受信機）に、直接その音声が届くので、うるさく感じる場面があります。咳払い、大きな声を出すときは、なるべく口元からマイクを離すように心がけると安心です。また、机間巡視などで、他の児童生徒に個別に声かけをする場合も、その音声を受信機側に届くことを意識しておく必要があります。

多くのマイクには消音機能（ミュート）がありますので、状況に合わせて操作することをおすすめします。

（例）ロジャーセレクトの場合

自分の音声をミュートにしたい場合は、センターキーをタップしてください。センターインジケータが赤色に点灯します。

④衣ずれ音（雑音）が入りやすい衣服の着用を控える

話し手の衣服の素材や形状によっては、マイクと服が擦れるときに、頻りに衣ずれ音がして、その音がマイクを通して受信機側に届いてしまうことがあります。子どもがうるさく感じていないかどうかよく確認しながら、できる限り雑音をマイクで拾わないように工夫するとよいでしょう。

（次号に続く）



シャカ シャカ



服の音がうるさくて、何を話しているのかききとれないなあ…

6/8

高等部「進路説明会」のご案内

本校高等部では、聴覚障がいのある中学生を対象にした進路説明会を実施します。進路選択の参考として、ぜひご参加ください。（※第1回学校見学会と兼ねています）

- 日時 令和6年6月8日(土) 午前9時40分～11時30分
- 場所 高等部4階会議室
- 対象 中学3年生（生徒および保護者）
中学1, 2年生の保護者
- 内容 (1) 高等部の概要説明・質疑応答等
(2) 授業・施設見学等 ※寄宿舎の見学も可
- 集合 午前9時30分に本館新館ホール（玄関付近）
- その他 駐車スペースはありませんので、車での来校はご遠慮ください。また、学校周辺の路上駐車は近隣の方のご迷惑になりますので固くお断りします。



〒540-0005 大阪市中央区上町 1-19-31
大阪メトロ：谷町線・中央線「谷町4丁目」⑩番出口 南東約600m
谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町6丁目」⑦番出口 北東約600m
シティバス：上町一丁目もしくは国立病院前下車

〈申込方法〉 参加申込書を、在籍校を通してメール送信
〈問い合わせ〉 大阪府立中央聴覚支援学校 高等部（首席）上田
TEL 06-6761-1424（高等部直通）
FAX 06-6762-1800

締め切り 5月24日（金）

本校高等部では、「進路説明会」のほか、次のような機会を設けています！

● 本校高等部入学に向けた教育相談 令和6年6月3日（月）～12月末（随時）

〈場 所〉本校高等部 4 階 応接室

〈対 象〉中学校・支援学校 中学部 第3学年生徒とその保護者、担任および進路指導関係担当教員

- ・各校にて、必要書類（※）を聴覚に障がいのある関係生徒、保護者に配付してください。保護者の希望日時をもとに決定後、担当者より連絡いたします。
- ・教育相談に伴い、学校見学・寄宿舎見学もできます。事前にお知らせください。
- ・教育相談は1回あたり約30分を予定しています。

（※）詳細については、関係中学校、関係支援学校に配付している案内等に記載していますので、ご確認ください。本校ホームページにも記載しています。

● 高等部体験入学 令和6年7月23日（火）

9:00～12:00（本科体験：中学生対象）

13:00～16:00（専攻科体験：高校生対象）

● 第2回本校学校見学会 令和6年9月12日（木）

小学生 通級指導教室でのこぼれ話 — 通級担当より —

小学生は、特に低学年の時期など、大人に比べると、とても少ない語彙を使って話をしています。学習言語を学び始めているものの、まだまだ生活言語を軸に今を生きています。聴覚障がいのある子どもはなおさらのことだと思います。

〈子どもの反応を確かめるとき〉

子どもの理解を確認するために、大人が頻繁に使う言葉があります。

「きこえてる？」 「わかった？」 「大丈夫？」

「きこえる」「わかる」にはいろいろな段階があります。大人が確認したいレベルに達していないときであっても、子どもは本人のわかったレベルで「はい」と答えます。そして、



子どもが「きこえなかった」「わからない」「大丈夫ではない」と答えるときには、子どもの自尊心に大きな負荷がかかっていることを、大人は感じ取りたいものです。通級指導教室を担当して、子どもが不安な気持ちを託してもいいと思える大人でありたいものだと思います。

大人自身が、何のために子どもに声をかけて確認しているのかを振り返ること、場面に応じた丁寧な確認を行うことが必要です。子どもの理解を細かく観察していくことで、次第に子どもの理解の範囲に関する見立ても定まってきます。また、子どもへの理解が深まると、子どものきこえていない音の種類や場面などの見当もついてきます。

日々ききもらさないように、失敗しないようにと緊張している子どもたちは、学校生活の中で先生からサポートを受けられたとき、「ああ、助かったな」と、心の中でつぶやいていることと思います。日々の学校生活を支える先生方が、それぞれの視点で子どもの安心と安全を支えてくださるよう、お願いしたいと思っています。

令和6年度 各種研修会のお知らせ（予定）

令和6年度の本校主催の研修会についてお知らせします。今年度も地域の先生方のニーズにお応えできるよう、充実した研修内容を企画しています。

＜研修会の日程＞

8月初旬

- 聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会
- 養護教諭セミナー

1月初旬

- みみネットアカデミー

夏の研修会については、日程が決まり次第「みみネット」および本校ホームページ等に、掲載します。どうぞご参加ください。



「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31
TEL. 06-7712-1405（支援関係） / 06-6761-1419（学校代表）
FAX. 06-6762-1800